

I 富士フイルムグループ健康保険組合個人情報保護方針

1. 当健保は、取得した被保険者等の個人情報について、適切な安全措置を講じる事により、被保険者等の個人情報の漏えい、紛失、毀損又は被保険者等の個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。
2. 個人情報の収集にあたっては、健康保険法等の法令で収集が義務付けられている場合を除き、被保険者等に対し利用目的を明らかにし、利用目的の達成に必要な範囲内でのみ使用します。また、個人番号については、番号法で定められた利用範囲において特定した利用目的でのみ利用いたします。
3. 当健保は、被保険者等から提供された個人情報を、被保険者等の医療給付、健康の保持増進など被保険者等にとって有益と思われる目的のためだけに使用いたします。
4. 当健保は、あらかじめ被保険者等の事前の同意を得た場合を除き、被保険者等の個人情報を第三者に提供いたしません。また、個人番号を含む個人情報(以下「特定個人情報」という。)については、本人の同意有無にかかわらず、番号法に定める場合を除き、提供いたしません。ただし、特定個人情報でない個人情報について、次の各号に該当する場合は、被保険者等の同意を得ることなく、被保険者等の個人情報を第三者に提供することがあります。
 - ①法令等の定めに基づく場合
 - ②人の生命、身体または財産の保護のために必要であって、被保険者等の同意を得ることが困難である場合
 - ③公衆衛生の向上または児童の健全な育成推進のために必要であって、被保険者等の同意を得る事が困難である場合
 - ④国の機関もしくは地方公共団体、またはその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、被保険者等の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合また、被保険者の同意を得たうえで(法令等に定める「黙示による包括的同意」を含む)第三者に個人情報を提供する場合についての指針は、本指針IV章 第三者提供に述べます。
5. 当健保は、職員に対し個人情報保護に関する教育啓発活動を実施するほか、個人情報を取扱う部門ごとに管理責任者を置き、個人情報の適切な管理に努めます。
6. 当健保の業務を委託する場合には、常により個人情報の保護に配慮した形態に見直し・改善を図ります。業務委託契約を締結する際には、業務委託先として適格性を十分審査するとともに、契約書の内容につき、より個人情報の保護に配慮したものとします。委託先には必要かつ適切な監督を継続的に行い、個人情報の保護に努めます。
7. 被保険者等が、本人の個人情報の照会、修正等を希望される場合、合理的な範囲ですみやかに対応します。
8. 当健保は、被保険者等の個人情報の取扱いに関係する法令その他の規範を遵守するとともに、本個人情報保護方針の内容を継続的に見直し、改善に努めます。